

教えて歯医者さん！

ケガをしてしまったどうしよう!!

はは歯クラブ
無料歯みがき指導・相談
9/13・23 (要予約)
問) ゆきなり小児・矯正歯科

子供はよくころぶものです。特によちよち歩きの時期と小学1年生前後が多いと言われています。1、2歳の頃は歩行が不安定ですので周りの大人の気づきが必要が必要です。おもちゃ、歯ブラシ等を口に入れたまま転倒したり、机の角、階段などでぶつける事故があとをたちません。小学1年生前後になると行動が活発になり遊具や高いところからの転落、友だちどうしのふざけあいによる事故などが増えてきます。中学生前後になると、事故の頻度は減りますが、自転車などによる交通事故、スポーツによる事故などが起こってきます。ここではケガの程度の軽い方から順に実際の症例をお見せします。



院長 行成哲弘

【資格、学会】
・日本小児歯科学会認定
小児歯科専門医

日本矯正歯科学会、
全国小児歯科開業医会、
日本歯科医師会

唇をぶつけた

転倒などによってお口の中(粘膜)を傷つけることがあります。この写真の傷は下の前歯で傷ついた物です。この程度の傷なら何も処置をせずとも自然と治ってきますし痕も残りません。お薬(塗り薬)を処方する場合があります。



上唇小帯が切れた

上唇小帯の付着部位(歯茎についている位置)が悪い場合には転倒などで簡単に切れることがあります。その場合、かなり出血しますが切れた状態で治ってしまいます。以前はよく付着部位が悪いときには手術をして人為的に切っていたくらいですからそのまま結構です。出血がなかなか止まらないとか、腫れてきた場合などは歯医者さんへ行ってください。



ゆきなり小児・矯正歯科

【小児歯科診療、矯正歯科診療、
予防、歯育て健診】

長崎市葉山2-5-26
TEL: 095-857-8211



待合室